

# コロナ禍で追いつめられる女性たち いまこそ、ジェンダー平等社会の実現を！

コロナ禍は、女性の抱える課題を顕在化させました。シングルマザーの困窮にDV相談や性暴力被害の増加、女性の自殺増など、平時の弱者が有事にはますます追いつめられるという厳しい状況に、西東京市は特段の支援策を講じませんでした。

市がやらないなら自分たちで考えようと、西東京・生活者ネットワークは「コロナ禍とジェンダー平等」というテーマで学習会を開催しました。講師は西東京市男女平等推進委員会副会長を務める安田和代さんです。他市で好評だった「雇用や生活の危機にさらされた女性がセーフティネットを学ぶ連続講座」や、安田さんご自身を含め女性相談員や虐待防止に携わる子ども家庭専門員、消費生活相談員、公民館専門員など自治体で働く専門職の多くは有期契約かつ年収200万以下の女性という現実が紹介されました。



「コロナ禍とジェンダー平等」をテーマに学習会を企画しました

最後の「女性の貧困は、当事者としての自分の問題でもある。個人的なことは政治的なことにつながっている。だからこそ現実に関心を寄せ、仲間を作り、声を上げることからはじめていきましょう」という呼びかけは、まさに生活者ネットワークの運動そのものであり、おおいに勇気づけられました。

## 子どもの声をまちづくりに生かそう！ 公園調査プロジェクトを実施！

東町の文理台公園で「こどものこえをきかせてください」と書いた旗を持ち、お気に入りの場所や公園への要望を子どもたちから聞き取りました。

「バスケのゴールがほしい!」「ボール遊びがしたい!」「見晴らしのいい展望台が好き」「木のベンチが和む」という声からは、どの子にも意見があること、大人とはまた違う公園への愛着を持っていることが分かりました。一方で「日よけが無くて暑い」「トイレが怖くて使えない」という声も。

西東京市子ども条例には、子どもの意見表明権が定められています。子どもたちの声が公園づくりに反映されるよう努めていきます。



100人を超える子どもたちの声を聞き取りました(右はかとう涼子市議会議員)

### 後藤ゆう子さんを推薦します



**平井 竜一**  
元逗子市長



**山田 真**  
小児科医



**中川李枝子**  
児童文学作家

### 私たちも応援します

- 坪井 照子 元市議会議員
- 鈴木 美紀 元市議会議員
- 茂木千佳子 元市議会議員
- 金見 芳子 元市議会議員
- 渡辺嘉津子 元市議会議員
- 森下 典子 元市議会議員
- 石田 裕子 元市議会議員

ひとこと提案アンケートにご協力ください!



- 子どもの貧困対策と食支援
- コロナ禍の女性支援
- 自殺対策・ゲートキーパー研修の充実
- リユースの推進で脱プラスチック
- 化学物質過敏症(香害)、電磁波過敏症への理解促進と対策提起
- 地産地消の推進と都市農業の保全
- 災害対策に女性の視点を
- 脱温暖化! 脱原発! 次世代にツケを残さない!



### 2期8年、全力で取り組みました





# かとう 涼子

政治をもっと、  
身近なものに。

西東京・生活者ネットワークニュース No.106 南版  
かとう涼子 REPORT  
発行：西東京・生活者ネットワーク  
発行日：2022年8月1日 発行責任者：広瀬郁美  
〒202-0015 東京都西東京市保谷町6-25-1-102  
TEL.042-453-4121 FAX.042-410-0014  
E-mail nishitokyo@seikatsusha.net  
URL https://nishitokyo.seikatsusha.me



<https://kato.seikatsusha.me>

## MESSAGE 政治を身近に、地域をもっと元気に！

私たちの生活の中には、ひとりでは解決できない困難がたくさんあります。そうした不安や困難に寄り添い、解決に向け全力で取り組むのが政治の役割だとの思いで、2期8年間、全力で走り続けてきました。

自治体は私たち市民にとって、一番身近な行政機関です。市民目線でサービスや制度をチェックし、使い勝手が悪ければ変えていく、必要なサービスが無いなら声をあげ提案していく、そんなフットワークのよさが市議会という身近な政府の醍醐味だと思っています。

市民の皆様からいただく様々な意見や要望が、私の政策提案の原動力です。暮らしに根差した政治を、共に実現してまいりましょう。

かとう涼子

### かとう涼子 かとうりょうこ ●プロフィール

■1971年旧・田無市生まれ。柳沢小、田無四中、保谷高校、法政大学社会学部卒。■1995年～2014年編集・出版業のかたわら、アースデイ日本◎東京連絡所、環境自治体会議など市民運動に事務局として関わる。■2014年～2022年西東京市議会議員（2期8年）。不登校を考える親の会IPPO、中学校放課後カフェ、ふれあいのまちづくりなどの地域活動に参加。趣味は和太鼓、コーラス、寄席通い。6人家族（夫、1男1女、父、母）。南町在住（旧姓：竹下）。



### 西東京・生活者ネットワークの3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで



食の安全・環境問題・女性のエンパワメントにこだわり続けて39年。

西東京・生活者ネットワークは、旧保谷・田無の時代から続く、地元密着の地域政党です。



# 介護する人も大切にされる社会へ ケアラー支援条例をつくらう！

老々介護、認知症介護、障害のある子のケア、ひきこもる家族のケア…介護や看病、療育が必要な家族等を、日常的に介護している人をケアラーといいます。核家族化が進む中、年齢に不釣り合いなケアを担う子ども(ヤングケアラー)が、学業や人生に支障を来していることも見えてきました。

生活者ネットワークでは、ケアラーに必要な支援策を検討するプロジェクトを立ち上げ、当事者からの聞き取り調査をもとに、今年4月に報告書をまとめました。

調査から見えてきたのは、一人が何人ものケアを同時に、または連続して行うケースの多さです。

「脳性まひの子と認知症の父を同時に介護」「うつ病の母を実家に引き取った後、夫が脳梗塞に」など過酷なケアを長期間担

いつつ、自分が頑張るしかないケアラーに、「あなたの人生も大事。どうすればいいか一緒に考えよう」と言える社会をつくりたい。社会的孤立を支え、就労、進学、休息を確保し、将来の不安を軽減するために、「ケアラー支援条例」の制定をめざします。



ケアラー支援プロジェクトでは座長を務めました

## 子どもの声をまちづくりに生かそう！ 公園調査プロジェクトを実施！

東町の文理台公園で「こどものこえをきかせてください」と書いた旗を持ち、お気に入りの場所や公園への要望を子どもたちから聞き取りました。

「バスケのゴールがほしい!」「ボール遊びがしたい!」「見晴らしのいい展望台が好き」「木のベンチが和む」という声からは、どの子にも意見があること、大人とはまた違う公園への愛着を持っていることが分かりました。一方で「日よけが無くて暑い」「トイレが怖くて使えない」という声も。

西東京市子ども条例には、子どもの意見表明権が定められています。子どもたちの声が公園づくりに反映されるよう努めていきます。



100人を超える子どもたちの声を聞き取りました(右はかとう涼子市議会議員)

### かとう涼子さんを推薦します



**平井 竜一**  
元逗子市長



**山田 真**  
小児科医



**中川 李枝子**  
児童文学作家



2期8年、全力で取り組みました

### 私たちが応援します

- 坪井 照子 元市議会議員
- 鈴木 美紀 元市議会議員
- 茂木千佳子 元市議会議員
- 金見 芳子 元市議会議員
- 渡辺嘉津子 元市議会議員
- 森下 典子 元市議会議員
- 石田 裕子 元市議会議員

- 子ども食堂への財政的支援
- 高齢者のフレイル予防、居場所づくり
- 不登校の子どもを今を支え、未来を応援
- 障がい者の社会参加
- 超短時間雇用の導入
- はなバスのない地域の買い物移動支援
- 公園づくりみどり基金の有効活用
- 脱温暖化! 脱原発! 次世代にツケを残さない ほか

かとう涼子の  
取り組み



ひとこと提案アンケートにご協力ください!



市民の声を市政に届けましょう。みなさまのご意見・ご要望をお待ちします。

西東京・生活者ネットワーク TEL.042-453-4121 FAX.042-410-0014 E-mail:nishitokyo@seikatsusha.net